

勇者のクズ

その少女は、仲間の待つバーへと向かう主人公の目の前に降ってきた。ビルの屋上からアスファルトを砕く勢いで落ちてきたのに死んでいない。首筋には特徴的な注射痕。《E3》と呼ばれる特殊なドラッグを常用している証拠——すなわち彼女は、勇者。

勇者なんて、最低のクズがやる商売だ。

エーテル増強手術によって体内エーテル——いわゆる魔力——を増幅して常人ならざる力を得た「魔王」が各地で猛威を振るう世界。「勇者」とは《E3》で一時的にエーテルを増幅して魔王を殺すことを職業にしているならず者たちの呼称に他ならない。

主人公は《死神》ヤシロと呼ばれる凄腕のプロの勇者だ。彼は目先の金に目がくらんで冒頭の少女に見習い勇者3人組の指導を引き受けてしまうのだが、そこから何やら怪しい事件に巻き込まれていくことになる。

血の騒ぐような展開に夢中になるのはもちろんだが、何といてもキャラクターが魅力的な作品である。ヤシロら勇者たちは一癖も二癖もある変人ぞろいで、みな人殺しのクズでありながらも仲間との日常を心のよりどころにする人間らしい一面も持ち合わせている。一方勇者見習いたちは甘さの残る世間知らずの女子高生だが、これまたそれぞれに癖が強い。このちぐはぐな組み合わせによるコミカルなやりとりが、殺伐とした物語に華を添えている。

キャラクターの魅力を支えるのが、この独特の世界観だ。「勇者」を題材としながらも舞台は王道ファンタジー的な世界ではなく現代東京であり、癖の強いキャラクターたちをぐっと身近にしてくれる。そんな王道世界とは程遠い、ドラッグを使わないと戦いの舞台にも立てないようなシビアな世界観ではあるが、それと同時に、魔王の城や勇者の剣といったファンタジー的な要素もうまく内包されているのだ。

作り込まれた世界観と魅力的なキャラクターがとにかく我々を夢中にさせてくれる作品。殺伐としたバトルが好きなあなたにも、テンポのいい掛け合いが好きなあなたにも、ぜひおすすめしたい。ただの勇者ではない「勇者のクズ」たちの活躍に胸躍らせてみてはいかがだろうか。
(海月)

『勇者のクズ1』 続刊発売予定

著者：ロケット商会 / 出版社：KADOKAWA
 価格：1,296円（税込）
 小説投稿サイト「カクヨム」に掲載中
 カクヨムTOP：https://kakuyomu.jp/

